

令和6年度 総務環境委員会行政視察報告書

1. 視察期間

令和6年11月18日

2. 視察先

高山市高根町野麦

3. 視察項目

野麦小水力発電所



4. 視察の目的

高根地域における小水力発電の現状について

5. 視察内容

ア. 概要

高根町野麦の現地にて、阿多野郷・野麦小水力発電（株）代表取締役井上博成氏および地元の関係者森本喜久雄氏、古谷桂信氏より、10月に完成した小水力発電所の売電までの歩み・施設概要（内容は別紙のとおり）について説明を受け、その後発電所施設や放水口及び上流の取水施設を見学した。

イ. 効果

地域の資源や特性である豊富な水や急峻な地形の高低差を生かした小水力発電所によりクリーン電力の供給（約300戸分）、管理業務等による4名の地域雇用、通常より安価な電力の提供、地域の活性化など

ウ. 課題

毎日の取水施設のごみの除去、大雨時の取入れ口の手入れ、冬季間の現場までの除雪など

6. 考察

脱炭素先行地域づくり事業は、まだ始まったばかりですが、地域の特性を生かした自然エネルギーの地産地消によって、地元事業者の参入、雇用機会の創出、来訪者の増加、人口減少の緩和などの地域課題の解決や、地域内資金循環の実現などの波及効果を高めることに期待します。

また、小水力発電所から送電会社の送電線につなぐ協議に一番苦労したとの発言もあり、今後の発電所の新設に向けての課題と考えます。

令和6年11月18日

阿多野郷・野麦小水力発電株式会社 資料

野麦小水力発電所について

売電までの歩み

H28(2016)年 8月 阿多野郷・野麦地区との発電事業協議開始
H28(2016)年12月 阿多野郷・野麦小水力発電(株)設立・覚書締結
H29(2017)年 3月 中部電力PGとの各種協議開始
H30(2018)年 8月 中部電力PGとの募集プロセス完了、各種調整
R 2(2020)年 8月 中部電力PGとの契約締結
R 4(2022)年 4月 着工（地鎮祭の開催）
R 6(2024)年10月 完成・売電開始

施設概要

流域面積 6.59km²
有効落差 60.8m
水圧管路約 800m
最大使用水量 0.39m³/s
最大出力 196.1kW
取水口 EL=1356.0m
放水口 EL=1291.5m
総落差 64.5m

地域協働型の小水力発電所整備

【飛騨高山モデル】

1. 合意
2. 維持管理
3. 共同出資
4. 役員就任

新設の目的会社
の設立取水口の維持
管理など町内会との
合意阿多野郷・野麦小水力発電株式会社
代表取締役 井上 博成

野麦小水力発電所設備配置図

